

長子配布

保護者様

有田町立有田中部小学校

校長 山口 英俊

新型コロナウイルス感染防止に係るマスク着用について（お願い）

今年は、梅雨入り宣言があったかと思えば、もう梅雨明けということで、夏の日差しを感じるようになりました。気温も上がり、今週は、朝から各教室の冷房を入れ対応しています。

さて、暑さが増し熱中症の心配が高まっていることを受け、「マスク着用緩和」の動きが高まり、佐賀県でも県教育委員会としてマスク着用の方針が出されました。（裏面参照）

これを受け、学校でもマスク着用について再度協議・確認をしたところです。

授業中の教室内での距離、休み時間に友達と一緒に遊ぶ過ごし方など、子供たちの学校内での生活状況を考えると、『身体的距離を確保できない場面』がほとんどですので、マスクを外すことができる場面は限られています。そこに、『新型コロナウイルス感染症予防対策』『熱中症対策』の両方を考慮しながら、学校としてのマスク着用の仕方について、下記のようにします。

記



【登下校中】

- ・熱中症の危険も考えられるため、『マスク着用なし』でもよい。（保護者及び児童の判断による）
その際には、会話をしない。（話すときにはマスクを着用し、暑くなったら「会話しない」と決めて外す等。）

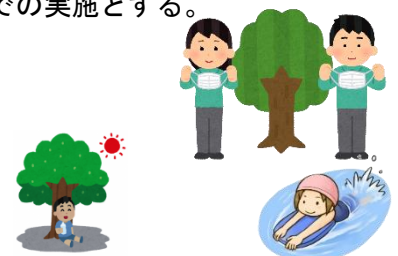


【室内での授業中】

- ・冷房を入れて熱中症を予防し、『マスク着用』とする。
- ・息苦しさを感ずるとき、暑いときなどは、マスクを少し浮かせたりずらしたりして深呼吸する。

【屋外での授業中】

- ・身体的距離が確保できるとき、会話しないときは、『マスク着用なし』での実施とする。
（担任及び担当者の指示による）



【体育の授業中】

- ・水泳の授業では、着替え、体操時までは『マスク着用』、シャワー及び活動時は、『マスク着用なし』で実施する。
- ・水泳以外の体育の授業では、運動量に合わせて『マスク着用』『マスク着用なし』の指示を行う。（担任及び担当者の指示による）熱中症のリスクを考えて運動量を調節したり、水分補給・休憩などの時間を入れたりする。



裏面に続く

■ 県教委のマスク着用の方針

	身体的距離(2メートル以上を目安)が確保できる		身体的距離が確保できない	
	屋内	屋外	屋内	屋外
会話をする	着用を推奨 (十分な換気など感染防止対策を講じている場合は外すことも可)	着用の必要なし	着用を推奨	着用を推奨
会話をほとんどしない	着用の必要なし	着用の必要なし	着用を推奨	着用の必要なし

※夏場は熱中症予防の観点から、屋外の「着用の必要はない」場面でマスクを外すことを推奨
 ※高齢者と会う時や病院に行く時などはマスクを着用する

お願い

- 予備マスクの補充・確認をお願いします。(ランドセル内に常備)
- 朝の検温、健康観察を引き続きお願いします。
- 同居家族に37.3℃以上の発熱が見られる場合は、登校を控えてください。



最近、予備マスクが無い子や、検温を忘れてくる子がみられます。有田町の感染者を再拡大させないためにも確認及び測定をお願いいたします。

濃厚接触者等の自宅待機に関するガイドライン

(確認)

- 陽性者 ⇒ 10日間
- 濃厚接触者(陽性者の家族) ⇒ 7日間
- 要待機者(陽性者と接触がある) ⇒ 5日間
- 濃厚接触者・要待機者の家族や接触者 ⇒ 3日間

※詳しくは、以前配布したプリントを中部小学校HPにアップしていますので、そちらからもご確認いただけます。(「学校からのお知らせ」R4.6.9)



中部小学校HP